リハビリ転職の答え合わせ　配布資料

リハビリ職の
職務経歴書テンプレート

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が、経験を「どんな環境で・何を担当し・どう取り組んだか」に分けて書くための下書き用紙です。職務経歴書に決まった様式はないので、この順に埋めてから清書してください。

1. 勤務先ごとに埋める
いまの職場から順に、1つの勤務先で1つの表を使います。

2. 記録で確かめられることだけ
人数や期間は、記録で確かめられる範囲で書きます。分からないところは空けておきます。

3. 応募先に合わせて並べ替える
応募先で生かせる経験を先に書くと、読む側に伝わりやすくなります。

1 勤務先ごとの経歴

勤務先が複数あるときは、この表を勤務先の数だけ使う

在籍期間	年　月 ～　年　月（雇用形態：常勤・非常勤）
勤務先・施設の種類	（例：回復期リハビリテーション病棟のある病院、訪問看護ステーション、通所介護）
配属・担当した部門	
担当した領域	（時期：急性期・回復期・生活期／対象：成人・小児／主な疾患や障害）
担当の目安	（1日の担当人数や単位数、受け持ちの人数。記録で確かめられる範囲で）
チームでの役割	（委員会・実習指導・新人教育・リーダーなど）
取り組んだこと	（どんな場面で、誰と、何をしたか）

2 取り組みを、具体的な行動にする

抽象的な書き方	具体にするための問い
チーム連携に力を入れた	どの会議・場面で、何を共有し、どんな役割を担ったか
退院支援に関わった	家屋の評価・家族への説明・他職種との調整のうち、何を担当したか
後輩の指導をした	何人を、どの期間、どんな方法で（同行・記録の確認など）指導したか
業務の改善をした	何を変えて、記録や時間の面で何が変わったか（記録で確かめられる範囲で）

3 書き方の見本

見本｜「環境 → 担当 → 行動 → 役割」の順に書く

回復期リハビリテーション病棟にて、脳血管疾患・運動器疾患の理学療法を担当。退院前の家屋評価に同行し、家族への動作の説明とケアマネジャーとの情報共有を担当。入職3年目より実習生の指導を担当。

文の並べ方を示す見本で、特定の人の経歴ではありません。領域・行動・役割を、自分の経験に置き換えてください。

4 提出前のチェック

- ☐ 在籍期間・資格名・勤務先名に誤りがない
- ☐ 担当した業務と、チーム全体の実績を区別している
- ☐ 患者・利用者が特定できる情報を書いていない
- ☐ 勤務先の非公開の情報を書いていない
- ☐ 応募先で生かしたい経験が先に来ている
- ☐ 面接で、例を挙げて説明できる

リハビリ転職の答え合わせ　https://rehab-kotaeawase.com/
運営: 株式会社delta　作成: 2026年11月

この資料は自由に印刷・保存して使えます。
志望動機の書き方 → https://rehab-kotaeawase.com/shiboudouki/